

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書（護岸概成時）

（令和 7 年 4 月分）

【海域生態系調査】

国 土 交 通 省 近 畿 地 方 整 備 局

大 阪 港 湾 局

大 阪 湾 広 域 臨 海 環 境 整 備 セ ン タ ー

目 次

I 事後調査の概要

- 1. 調査概要 I - 1
- 2. 調査結果の概要 I - 4

II 事後調査結果

- 1. 海域生態系調査 II - 1

I 事後調査の概要

1. 調査概要

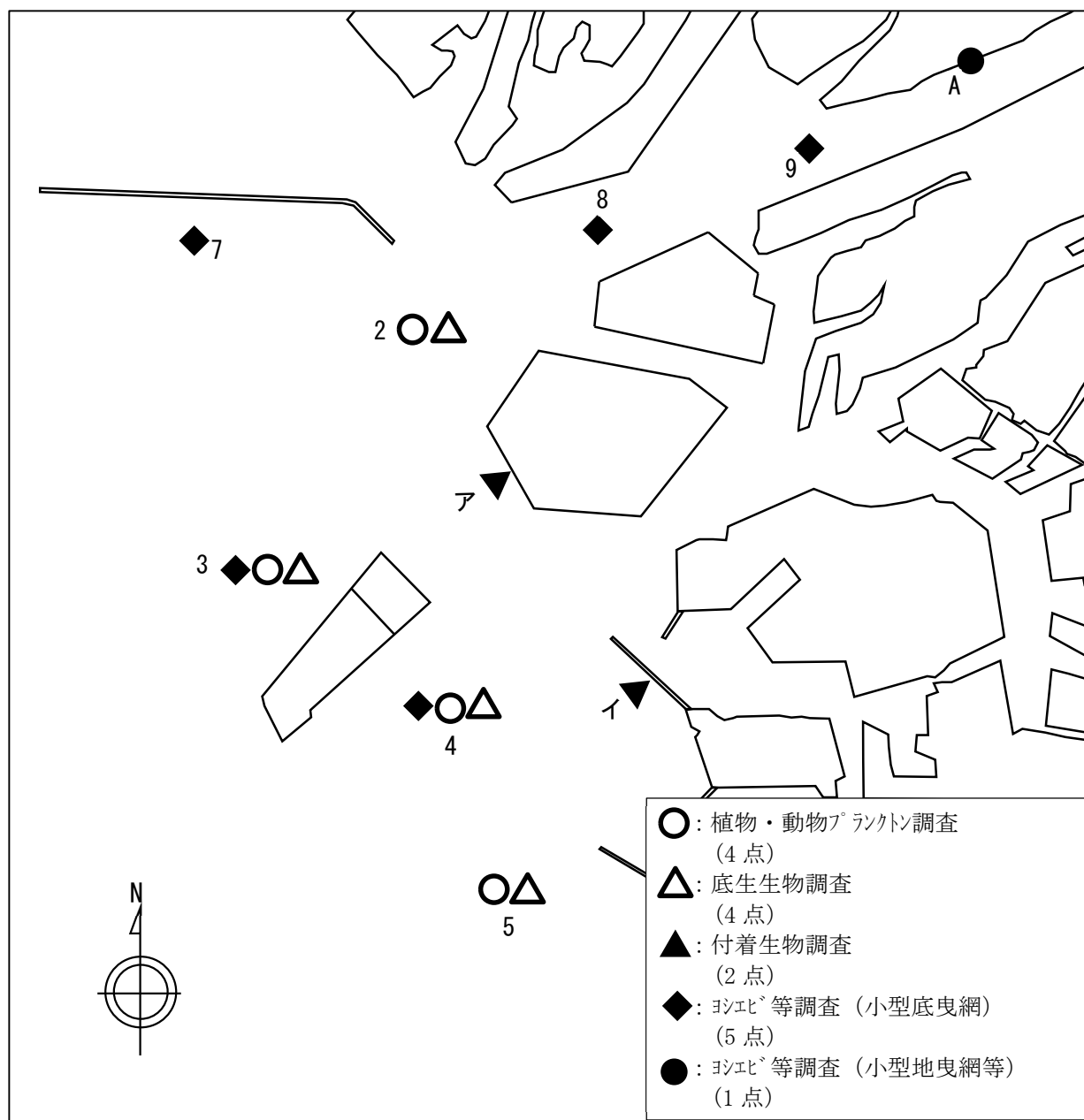
「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和7年4月の事後調査（海域生態系調査）の概要は表－1に、調査点の位置は図－1に示すとおりである。

表－1 事後調査（海域生態系調査）の概要（令和7年4月）

（8）海域生態系

調 査 項 目			調査範囲・調査点	調査頻度	調査期間	調査方法(試料採取方法)	
植物プランクトン調査			種組成、細胞数	4点×2層 【2, 3, 4, 5】 (海面下1m、海底面上2m)	4回 (2, 5, 8, 11月)	—	ハンドポンプ型採水器を用いて採水し、室内分析を行う。
動物プランクトン調査			種組成、個体数	4点×1層 【2, 3, 4, 5】 (鉛直曳き)	4回 (2, 5, 8, 11月)	—	北原式定量ネットを用いて採取し、室内分析を行う。
底生生物調査			種組成、個体数、湿重量	4点 【2, 3, 4, 5】	2回 (2, 8月)	—	スミス・マッキンタイヤー型採泥器を用いて採取し、室内分析を行う。
付着生物調査①			種組成、個体数、湿重量	2点3層 【7, 1】 (平均水面、大潮期最低潮面、大潮期最低潮面-1m)	4回 (2, 5, 8, 11月)	—	ダイバーによる目視観察及び採取調査を行う。
付着生物調査②			ムササギガイ現存量調査	2点 【7, 1】	4回 (2, 5, 8, 11月)	—	ダイバーによる目視観察及び採取調査を行う。 採取調査ではムササギガイの分布が比較的均質な場所を選び、分布層の上位・中位・下位の3層で採集する。 また、目視観察では0.5～1m毎に被度と厚みを測定する。
水産生物①	ヨシエビ等現存量調査	小型底曳網調査	種別個体数、全長	5点 【3, 4, 7, 8, 9】	12回 (毎月)	4月26日	カバーネットを付けた石桁網又はこれと同等の漁具を用い曳網を行う。
			水温、塩分、DO				船上より測定器を垂下し、1mビッチで測定する。
水産生物②	ヨシエビ等現存量調査	小型地曳網等調査	種別個体数、全長	淀川の岸辺1点	4回/年 (3, 4, 10, 11月)	4月21日	淀川の岸辺で小型地曳網等を用いて曳網を行う。
			水温、塩分				採水し、機器測定を行う。
水産生物③	アユ遡上調査	遡上量、水温	淀川大堰の魚道 (長柄橋上流)	4回/年 (4～6月)	—	淀川大堰の魚道において、1時間毎に10分間、個体数の計数を24時間行う。 (計数時には水温を測定) ※)	

備考) ※アユ遡上調査については、淀川大堰魚道でのIPカメラによる計数結果を整理した。



図—1 (1) 海域生態系調査点 (アユ遡上調査を除く) (令和7年4月)



図—1 (2) 海域生態系調査点 (アユ遡上調査) (令和7年4月)

2. 調査結果の概要

(1) 海域生態系調査

1) 植物プランクトン【海域生態系様式 1 号】

4 月は調査なし。

2) 動物プランクトン【海域生態系様式 2 号】

4 月は調査なし。

3) 底生生物【海域生態系様式 3 号】

4 月は調査なし。

4) 付着生物①【海域生態系様式 4、5 号】

4 月は調査なし。

5) 付着生物②【海域生態系様式 6 号】

4 月は調査なし。

6) 水産生物(ヨシエビ等)(小型底曳網調査)【海域生態系様式 7、8 号】

水温は、水深 0.5m で 13.9～16.3℃、海底面上 1.0m で 12.9～15.4℃の範囲にあった。

塩分は、水深 0.5m で 23.2～30.0、海底面上 1.0m で 28.5～32.7 の範囲にあった。

溶存酸素量(DO)は、水深 0.5m で 7.8～11.1mg/L、海底面上 1.0m で 6.6～9.2mg/L の範囲にあり、DO 飽和度は水深 0.5m で 89.9～130.3%、海底面上 1.0m で 77.0～109.7%の範囲にあった。

生物の出現種数は、全調査点の合計で魚類 11 種類、甲殻類 7 種類、頭足類 4 種類、その他 3 種類の計 25 種類であった。

個体数は、魚類は 15～156 個体、甲殻類が 1～45 個体、頭足類が 0～16 個体、その他が 0～46 個体の範囲にあり、湿重量は、魚類が 445.3～16,675.7 g、甲殻類が 0.9～68.9 g、頭足類が 0～33.6 g、その他が 0～249.2 g の範囲にあった。

個体数による主な出現種はハタタテヌメリ、トリガイであり、ハタタテヌメリは調査点 3、4、7、8 で、トリガイは調査点 7、8 で主要種となった。

湿重量による主な出現種は、アカエイであり、アカエイは調査点 3、7、8、9 で主要種となった。

7) 水産生物(ヨシエビ等)(小型地曳網等調査)【海域生態系様式 9 号】

調査時の水温は 20.1℃、塩分は 8.6 であった。

生物の出現種類数は、合計で魚類 9 種類、甲殻類 3 種類の計 12 種類であった。

個体数は、魚類は 2,970 個体/曳網、甲殻類が 7 個体/曳網であり、湿重量は、魚類が 108.1 g / 曳網、甲殻類が 0.4 g / 曳網であった。

個体数による主な出現種はマハゼ、湿重量による主な出現種は、マハゼ、スズキであった。

8) 水産生物(アユ遡上調査)【海域生態系様式 10 号】

年報にまとめて結果を記載する予定。

Ⅱ 事後調査結果

水産生物調査結果（小型底曳網調査①）（1）〔令和7年4月分〕

調査日：令和7年4月26日

調査点		3	4	7
項目				
種類数	魚類	6	7	5
	甲殻類(エビ・カニ類)	1	5	1
	頭足類(イカ・タコ類)	3	1	2
	その他	1		1
	合計	11	13	9
個体数	魚類	20	156	40
	甲殻類(エビ・カニ類)	3	45	13
	頭足類(イカ・タコ類)	10	2	16
	その他	2		46
	合計	35	203	115
湿重量 [g]	魚類	4,007.4	720.1	445.3
	甲殻類(エビ・カニ類)	19.5	63.9	68.7
	頭足類(イカ・タコ類)	33.6	7.7	12.2
	その他	9.3		249.2
	合計	4,069.8	791.7	775.4
主要種 個体数[%]		シントウイカ属 8 (22.9)	ハタテヌメリ 113 (55.7)	トリカエイ 46 (40.0)
		アカエイ 7 (20.0)	スベスベエビ 26 (12.8)	ハタテヌメリ 28 (24.3)
		ハタテヌメリ 7 (20.0)	テンジクタイ 22 (10.8)	シントウイカ属 13 (11.3)
				シヤコ 13 (11.3)
主要種 湿重量[%]		アカエイ 3,893.8 (95.7)	ハタテヌメリ 322.6 (40.7)	トリカエイ 249.2 (32.1)
			ハモ 119.4 (15.1)	ハタテヌメリ 201.2 (25.9)
			メイトカレイ 107.9 (13.6)	アカエイ 191.0 (24.6)
			アカシタビラメ 103.5 (13.1)	
主要種の 全長[cm] (平均値)	シントウイカ属	6.1		5.7
	トリカエイ	2.9		3.3
	シヤコ	8.3	7.3	7.1
	スベスベエビ		3.8	
	アカエイ	49.6		36.5
	ハモ		48.0	
	テンジクタイ	4.2	5.0	
	ハタテヌメリ	11.9	7.9	10.0
	メイトカレイ	9.6	9.0	8.4
	アカシタビラメ		24.3	

- 注) 1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。
 2. 主要種は各調査点での個体数または湿重量の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
 3. 主要種の全長欄のメイトカレイ類は殻長を示す。

水産生物調査結果（小型底曳網調査①）（2） [令和7年4月分]

調査日：令和7年4月26日

調査点		8	9	平均
項目				
種類数	魚類	4	4	11
	甲殻類(エビ・カニ類)	1	1	7
	頭足類(イカ・タコ類)			4
	その他	2	2	3
	合計	7	7	25
個体数	魚類	15	24	51
	甲殻類(エビ・カニ類)	1	1	13
	頭足類(イカ・タコ類)			6
	その他	4	2	11
	合計	20	27	80
湿重量 [g]	魚類	7,250.3	16,675.7	5,819.8
	甲殻類(エビ・カニ類)	68.9	0.9	44.4
	頭足類(イカ・タコ類)			10.7
	その他	33.2	2.7	58.9
	合計	7,352.4	16,679.3	5,933.7
主要種 個体数[%]		ハタテヌメリ 9 (45.0) トリカゴイ 3 (15.0) アカエイ 3 (15.0) メイトカゴレイ 2 (10.0)	アカエイ 21 (77.8)	ハタテヌメリ 32 (39.5) トリカゴイ 10 (12.8)
主要種 湿重量[%]		アカエイ 7,203.8 (98.0)	アカエイ 16,670.0 (99.9)	アカエイ 5,591.7 (94.2)
主要種の 全長[cm] (平均値)	シントウイカ属			5.8
	トリカゴイ	3.8		3.4
	シヤコ			7.3
	スベスベエビ			3.8
	アカエイ	72.9	53.4	53.9
	ハモ			48.0
	テンジクダイ			4.9
	ハタテヌメリ	6.6	5.8	8.7
	メイトカゴレイ	10.1		9.2
	アカンタビラメ			24.3

- 注) 1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。
2. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
3. 主要種は各調査点での個体数または湿重量の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
4. 主要種の全長欄のメイトカゴイ類は殻長を示す。

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和7年4月分]

調査日：令和7年4月26日

調査点：3

項目 水深[m]	水温[℃]	塩分[-]	DO[mg/l]	DO飽和度 [%]
0.5	14.2	30.0	9.4	110.2
1.0	14.2	30.0	9.4	110.4
2.0	14.1	30.2	9.4	110.1
3.0	14.2	30.3	9.4	111.4
4.0	14.5	30.5	10.1	119.4
5.0	14.4	30.6	10.5	123.7
6.0	14.3	30.7	9.8	115.9
7.0	14.2	30.9	9.5	112.7
8.0	14.0	31.2	9.2	108.6
9.0	13.8	31.4	8.8	103.3
10.0	13.7	31.5	8.4	99.0
11.0	13.4	31.9	8.2	95.7
12.0	13.3	32.3	7.7	90.2
13.0	13.2	32.4	7.5	88.0
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	13.0	32.6	7.3	84.7

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和7年4月分]

調査日：令和7年4月26日

調査点： 4

項目 水深[m]	水温[℃]	塩分[-]	DO[mg/l]	DO飽和度 [%]
0.5	13.9	28.0	7.8	89.9
1.0	14.0	29.6	7.8	90.8
2.0	13.9	31.1	9.5	111.3
3.0	13.6	31.7	9.5	111.2
4.0	13.5	31.9	9.0	105.5
5.0	13.4	32.2	8.9	103.7
6.0	13.3	32.6	8.4	98.2
7.0	13.3	32.6	8.1	94.6
8.0	13.4	32.6	8.0	93.4
9.0	13.4	32.6	7.9	92.6
10.0	13.4	32.6	7.9	92.4
11.0	13.3	32.7	7.9	92.2
12.0	13.3	32.7	7.7	90.8
13.0	13.3	32.7	7.7	89.8
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	13.3	32.7	7.6	89.5

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和7年4月分]

調査日：令和7年4月26日

調査点：7

項目 水深[m]	水温[℃]	塩分[-]	DO[mg/l]	DO飽和度 [%]
0.5	14.9	28.0	11.1	130.3
1.0	14.9	28.1	11.2	131.7
2.0	14.2	29.1	12.1	140.9
3.0	14.0	30.9	10.4	122.0
4.0	13.6	31.7	9.3	108.9
5.0	13.6	31.9	8.9	104.1
6.0	13.4	32.0	8.7	101.4
7.0	13.2	32.4	8.1	95.1
8.0	13.0	32.6	7.4	86.4
9.0	12.9	32.6	7.1	82.5
10.0	12.9	32.6	6.8	79.4
11.0	12.9	32.6	6.7	78.0
12.0	12.9	32.6	6.6	77.0
13.0				
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	12.9	32.6	6.6	77.0

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和7年4月分]

調査日：令和7年4月26日

調査点：8

項目 水深[m]	水温[℃]	塩分[-]	DO[mg/l]	DO飽和度 [%]
0.5	14.4	29.5	8.2	96.2
1.0	13.9	31.2	8.1	95.5
2.0	13.6	31.6	7.5	87.8
3.0	13.4	32.0	7.2	84.5
4.0	13.3	32.1	7.1	83.8
5.0	13.2	32.2	6.9	81.3
6.0	13.2	32.2	7.0	82.1
7.0				
8.0				
9.0				
10.0				
11.0				
12.0				
13.0				
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	13.2	32.3	7.0	81.3

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和7年4月分]

調査日：令和7年4月26日

調査点：9

項目 水深[m]	水温[℃]	塩分[-]	DO[mg/l]	DO飽和度 [%]
0.5	16.3	23.2	9.8	115.9
1.0				
2.0				
3.0				
4.0				
5.0				
6.0				
7.0				
8.0				
9.0				
10.0				
11.0				
12.0				
13.0				
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	15.4	28.5	9.2	109.7

海域生態系様式9号

水産生物調査結果（小型地曳網等調査）〔令和7年4月分〕

調査日：令和7年4月21日

項目		調査点	A
水 温 (表層)		[℃]	20.1
塩 分 (表層)		[－]	8.6
種類数	魚類		9
	甲殻類 (エビ・カニ類)		3
	頭足類 (イカ・タコ類)		
	その他		
	合計		12
個体数	魚類		2,970
	甲殻類 (エビ・カニ類)		7
	頭足類 (イカ・タコ類)		
	その他		
	合計		2,977
湿重量 [g]	魚類		108.1
	甲殻類 (エビ・カニ類)		0.4
	頭足類 (イカ・タコ類)		
	その他		
	合計		108.4
主要種 個体数 [%]		マハゼ	2,684 (90.2)
主要種 湿重量 [%]		マハゼ	64.2 (59.2)
		スズキ	42.3 (39.0)
主要種の 全長 [cm] (平均値)	スズキ		2.5
	マハゼ		1.7

- 注) 1. 調査では4回曳網を行っている。
 2. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。
 3. 主要種は調査点での個体数または湿重量の上位5種のうち、
 組成比率が10%以上のものを示す。